



輸送サービス労組 東京支部

No. **6**<sup>①</sup>  
21. 11. 16

# New Creation

**11月8日～9日 東京支部 防災士研修**



## 陸前高田 東日本大震災津波伝承館



東日本大震災から 10 年が経ちました。発災後の大津波によって被害が拡大し、多くの命が奪われました。現在も被災地域では、復興に向けて歩んでいます。

私たちは、日々の業務において、今後想定される巨大地震は、業務中に必ず起きます。そのため、重要なのは「事前防災」の取り組みです。自分自身と乗客の命を守るために、的確な避難・誘導が求められています。

しかし、避難・誘導の如何によっては「過失責任」が問われることとなります。今回、防災士と JR バス関東労組の仲間と共に被災地に立ち、当時の実際の避難の追体験と当時の経験談を学ぶことができました。今後の取り組みに活かしていきます。



**100 回逃げて、100 回来なくても、  
101 回目も必ず逃げて！**



現在の風景と震災前の風景を比べ、  
甚大な津波被害を  
目の当たりにしました



### 三陸鉄道の方より

- ・各駅に、高台に向けてまっすぐな道路の整備によって「避難道路」を設けている
- ・運転士の判断で停止し、避難誘導を行った

## 三陸鉄道（盛～釜石）震災学習列車



BRTにも乗車し、  
現状を認識しました

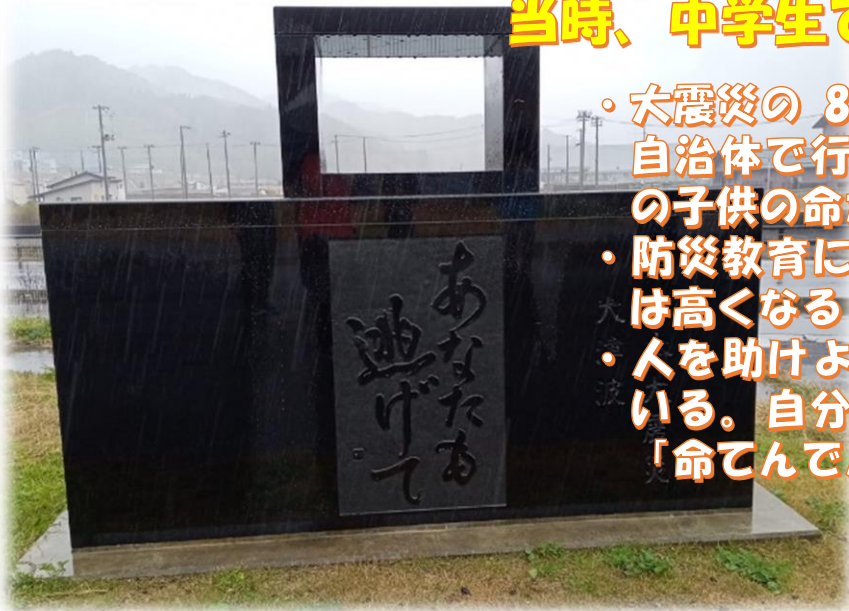


輸送サービス労組 東京支部

No. **6**<sup>③</sup>  
21. 11. 16

# New Creation

当時、中学生で実際に避難した方より



- ・大震災の8年前から「防災教育」を自治体で行ったことで、99.8%の子供の命が助かった
- ・防災教育によって、命を救える確率は高くなる
- ・人を助けようとして、命をなくしている。自分で自分の命を守ることが「命てんでんこ」です

## 釜石市 鶴住居 地区 津波避難追体験



## 宝来館女将さん ~経験談を語っていただく~



- ・奇跡と悲劇は、同じ場所で発生している
- ・教育によって、命を救える確率は高くなる

私たち自身と乗客の「命」を守るために、  
企業での防災教育・訓練と避難路の整備が  
極めて重要です！